

水車米販売促進の取り組み

昨年 11 月から水車米のテスト販売を開始して以来、間もなく 1 年を迎えようとしています。その間、上根・向山地域の皆様のご協力により、販売は少しずつではありますが増加してきています。昨年度半年近くで 25 万円であった販売額が、今年 4 月から 9 月の半年で 75 万円になりました。今年の新米から本郷の棚田米を本郷地域の農家のご協力により確保できたことから、今後、積極的な販売促進活動を展開していきたいと考えています。

①「銘菓八千代」などに水車米チラシを添付

地元久保製菓本舗の久保政明さんから銘菓八千代・銘菓神楽の里・銘菓一粒栗の製品に当振興会が販売している水車米のポケットチラシを添付したら、販売促進に少しでも役立つのではという申し出がありました。

久保製菓本舗の製品は、八千代町サイクリングターミナルや美土里町の神楽門前湯治村など市内の多くの場所でお土産品として販売されております。県内外への販売促進の足がかりにもなると考え、今月から久保製菓本舗の製品に水車米のポケットチラシを添付させていただいております。



久保製菓本舗の「銘菓神楽の里」

②可部町「可笑屋」での販売開始

可部旧道の町並みには、明治から大正にかけての古い民家が数多く残っています。この町並みの一角に「可笑屋」があります。築 200 年の古民家を修繕、改装して出来上がった「可笑屋」は平成 18 年 7 月に軽食などができる喫茶店としてオープンしました。今回、「可部カラスの会」のお世話で水車米を販売していただくことになりました。また、おむすびなどにも水車米を使用していただくよう交渉中です。可部にお出かけの際は一度お立ち寄りください。



「可笑屋 (かわらや)」は折目北側約 100m ところにあります

③「ひろしま夢プラザ」での販売活動

広島県の市町の特産品を販売している広島本通りにある「ひろしま夢プラザ」で水車米の試食販売を 10 月 12 日と 13 日の 2 日間行いました。おむすびをパックにして販売することによって、水車米の美味しさを味わってもらい、3kg 入の水車米を両日で 50 袋販売できました。今後、主食のお米として少しでも顧客の増加につながってくれることを願っています。



「夢プラザ」で水車米とおむすびを販売

みんなで活かそう 地域の資源

特色ある地域づくり事業



住民の自主的な地域づくり活動で、特色ある事業により地域の活性化を図るものに対して行われる市の助成事業

上根・向山地域振興会では、地域の知恵を活かし地域を活性化するために、「特色ある地域づくり事業」として平成16年度の「地域マップづくり事業」をはじめとして、以後「霧切谷遊歩道整備事業」や「水車米復活事業」など多くの事業に取り組んできました。

今年度は次の二つの事業に取り組めます。

☆花の里(花文字)づくり事業

1. 事業の目的

「潜龍峡ふれあいの里」の河川護岸は平成18年9月の集中豪雨で崩壊したが、本年3月に災害復旧工事が完成した。復旧された護岸ブロック上の土法面保護と景観保全のためにシバザクラとマツバギクを植栽することにより、災害から立ち直ったシンボルとして、また、当振興会が事業展開している「水車米」の宣伝効果を上げることを期待している。

2. 事業の内容

シバザクラで「スイシャマイ」と花文字を描き、マツバギクを背景として植える。安全な植栽作業や管理のために安全柵を設置する。

☆水車米直売所整備・広報事業

1. 事業の目的

平成18・19年度事業で水車で精米が可能となり、おいしい米を安定的に確保するため玄米保冷庫などの整備を行った。平成20年度に水車米を販売する「直売所」をオープンし販路の拡大を図る。直売所の広報活動としてパンフレットの作成や案内看板などの設置を行う。

2. 事業の内容

- ・水車米直売所を良く知ってもらうため、案内看板の設置やパンフレットなどの作成を行う。
- ・広島市内などでのイベントに参加して、水車米の試食販売の実施。
- ・直売所での調理用具などの整備。



法面に草が生えていないので、今が植栽のチャンス



新しく直売所の案内看板を設置

実りの秋♪♪ 棚田米がたくさん収穫できました！

上根・向山地域振興会では、今年から本郷の休耕田3枚(11a)を借り受けて稲の作付けをしました。今年も天候にも恵まれ、9月14日に行った刈り取りでは、収穫量が19袋(玄米1袋30kg)余りありました。

棚田はトラクターやコンバインなどの農機具も入りにくく、形も成型でないため平地に比べて作業に手間を取ります。今回の稲刈りでも周辺はほとんど手で刈るところが多く、5人で作業をしても1日近くかかりました。

本郷の棚田米の美味しさは、石積みからの放射熱で昼間は温度が高く、夜は山間地のため温度が低くなり、昼と夜の温度差が大きいことに加えて生活排水の混入しない山水で栽培されていることによります。こうした棚田米は、水車で精米することによって、更に付加価値のついた商品として消費者に受け入れられるものと考えております。

今年の本郷での棚田づくりの経験を生かし、来年はもう少し借り入れ面積を増やしたいと思っています。「可部カラスの会」からも交流事業の中で人的な支援を行いたいという申し出があることから、1a以下の小さな田については、手植えやハデ干しを行い「手づくり棚田米」として生産することも考えています。



棚田での農作業は手間がかかります

いつまでも お元気で

当振興会では、今年で第5回目となる振興会主催の「敬老の会」を9月15日(祝)午前10時30分から根野小学校体育館において、多くの方々のご参加を得て開催しました。

最初に中川会長からお祝いの言葉があり、その後、一昨年にも出演いただいたボランティアグループ「ひばり会」の方々による歌、舞踊などが演じられ、とても和やかな雰囲気で大いに盛り上がりました。



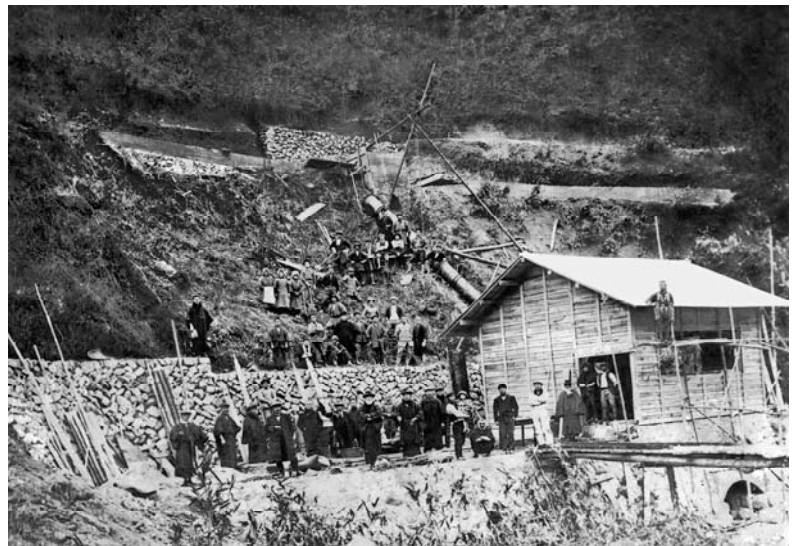
ボランティアグループ「ひばり会」の皆さん

ふるさと 今昔

「根野村営発電所」

大正10年に村営発電所の計画案が持ち上がり、大正13年9月に逓信省と広島県の建設許可があり、翌年10月から建設工事に着手した。大正15年3月に完成し、4月1日からの送電開始と同時に村内に文化の光がともり、人々はあかあかと輝く電灯を見上げて「お互いに喜びあった。

写真提供 日南下行政区 山口正則さん



大正15年3月完成前の「根野村営発電所」

チャレンジ!おおいた国体 カヌー競技

東邦団地行政区 川本佳乃さん(可部高2年)2種目に入賞

9月28日から10月1日まで大分県豊後高田市で開催されたカヌーフラットウォーターレーシング競技に、東邦団地行政区の川本佳乃さん(可部高2年)が出場し、500m・200m両種目で5位と4位にそれぞれ入賞を果たす健闘を見せました。

28日から始まった予選で、川本さんは先ず少年女子K-1(500m)に出場し、序盤からスピードに乗った好調な滑り出しで、一時はトップかと思われましたが、惜しくも2位で予選を通過。翌日の準決勝へと進みました。

29日午前中の準決勝では3位以内に入ったもの

のだけが決勝に進むことができます。ここでも川本さんは、強豪をおさえて2位でゴール。午後からの決勝に進みました。決勝では川本さんを含めた激しい3位争いの中で5位入賞を果たしました。

30日午前の少年女子K-1(200m)予選では、500mで1位・2位となったトップ二人がいる激戦区でしたが、見事彼女らに続いて3位でゴール。続く準決勝では後続を引き離しトップ争いを演じましたが、わずか0.1秒差の2位で決勝に進出しました。

午後から決勝レースが行われ、短距離レースのため、わずかの差で結果は4位となりました。雨の中、観客はゴールした選手に惜しめない拍手を送り、選手たちもそれに応え、パドルを両手で頭上にかざして「ありがとうございました」と大声でお礼を言いました。

大会関係者や応援の観客はもちろん、これまで自分たちを育ててくれた人たちへの感謝の気持ちであったと思います。



表彰式後、少年女子K-1(200m)で4位になった川本さん(真ん中が川本さん)



あたたかい ご寄付に 感謝いたします

香典返し

次の方からご寄付をいただきました。

紙面をかりて心から厚くお礼申し上げ、ご報告させていただきます。

ご寄付については、福祉事業に充分に活用させていただきます。

(敬称略)

住所	亡くなられた方	寄付された方
市下	柳川 基興	柳川 崇興